発行責任者 加藤　誠

緑の風 JR東労組 NEWS

ＪＲ東労組ホームページ

East Japan Railway Workers' Union　2025年8月15日　No.16

8月15日 終戦の日

戦後80年！過ちを繰り返してはならない！

平和の礎（沖縄県）

１９４５年８月１５日の終戦から８０年。ロシアとウクライナの戦争は終わりが見えず、ガザ地区ではイスラエルによる攻撃が増し、今もなお人命が失われ続けています。核使用の脅威も高まる中、先日の参院選では「核武装が最も安上がり」などと発言した候補の政党が急伸するなど、日本でも軍拡や改憲の動きが顕著になっています。

しかし、８０年前の沖縄戦では、本土決戦への“捨て石”（時間稼ぎ）として沖縄の住民は徹底抗戦を強いられ、実に４人に１人が犠牲になりました。住民に徹底抗戦を強いる構図は、今も続く世界の戦争も変わりません。

戦後、「国民主権」「基本的人権の尊重」「平和主義」を掲げた日本国憲法の公布以来、日本は一度も戦争していません。戦争放棄・戦力不保持・交戦権の否認を定めた９条をはじめとする日本国憲法はとても重要です。

戦争はいつの時代も「国民を守るため」という大義名分のもと行われますが、多くの命が失われる裏で軍需産業が莫大な利益を得ています。また、エネルギー価格や物価の高騰の一因にもなっています。命と生活を守るため、平和について真剣に考えましょう。

組合員と家族の命と生活を守るため、できることを考えよう！